

第47回 日本伝統鍼灸学会
東京大会
2019.11.23(sat)

無月経から妊娠に導いた症例

T

一般社団法人 東洋はり医学会関西

OYO HARI IGAKUKAI KANSAI

白川 未奈
Mina Shirakawa

症例

case

初診 — 20××年11月27日

患者 — 33歳 女性 フランス人

主訴 — 無月経

現病歴



14歳頃からピルを常用。
2017年6月、そろそろ妊娠がしたいと思
いピルをやめた。
それから6ヶ月間、生理がない。
友人の勧めで当院を受診。

症例

case



察

望診

174cm 63kg

聞診

背が高くスラッとしている
尺膚、顔色は黄色っぽい

問診

歌うようによくしゃべる

精神的なストレスを感じやすい

ストレスがかかると胃が痛い

時々下痢になる、時々悪夢で目が覚める

症例

case

診察

腹部・臍より下の下腹部が冷えている
帯脉一体が冷たく硬さを感じる

切診

切経

経絡腹診

全体的に硬い 大腹が小腹に比べ軟弱

脾の診所（中腕穴から陰交穴）→最も虚

心の診所（中腕穴から鳩尾穴）→次いで虚

腎の診所（陰交穴から恥骨上際）→実

肝の診所（帯脉穴から巨膠穴）→実

肺の診所（腹哀穴から臍の右）→平

脉状診

比較脉診

浮・平・虚

細くてとても弱い脉

脾心→虚 肝肺→実 肺→平

病 症の経絡的弁別

証 決定

脾土経の変動 → 無月経、胃痛、下痢
心火経の変動 → 悪夢
肝木経の変動 → ストレスを感じやすい

脾虚肝実証

適 虚側の判定 ——— 右 (女性)

予 後の判定 良

経絡治療の生命力強化
→ 身体全体のバランスが整う
→ → 生理機能の回復が見込める

治療 treatment

本治法 — **補法** — **R 太白**
瀉法 — **R 大陵**
L 太衝 **R 豐隆** **L 光明**

R 太白・R 大陵・L 太衝は銀鍼（長さ30mm, 直径0.18mm）、
その他はステンレス鍼（長さ40mm, 直径0.18mm）

標治法

古野式

経絡骨盤調整療法

頸部の補瀉調整

知熱灸

LR 頸椎沿いの強い
強張りに対し浅く刺す

ステンレス鍼（長さ40mm, 直径0.18mm）

R 三陰交・R 足三里・R 関元
(同部位にご自宅での施灸も指示)

【**骨盤・経絡調整**】



治療間隔 — 1週間に1回

経過 — 3回目 — 脈に力が出てくる

6回目 — 治療後に生理がくる
脈に輪郭が出て、安定
(以降、治療間隔を2週に1度へ)

12回目

31回目 — 生理間隔が28日周期で安定

妊娠が判明

鬼 者の状態

長期の低用量ピルの使用 →

妊娠希望のため
服用中止

6ヶ月月経が再開されないのはレアケース

服用中止後の月経開始に90日以上を要しているケースは**1.1%**

(海外134症例データ・「低容量経口避妊薬、低容量エストロゲン・プロゲステロン配合剤ガイドライン(案)」平成27年3月・日本産婦人科学会)

要因 — 不明(特定できない)

初産時
の
実際の状態

① 月経長期使用→服用中止

(ホルモナルモブの語れ)スル前夜による除外

② 元々糖質が良く問題が?

③ そもそも細の体調の問題?

東洋医学的治療（経絡治療）

の特徴

要因や病名でなく、
今ある四診の情報を
元に治療方針が決まる

脾虚肝実証

脾土経の変動→無月経、胃痛、下痢
心火経の変動→悪夢
肝木経の変動→ストレスを感じやすい

全体的に硬い 大腹が小腹に比べ軟弱
脾の診所（中腕穴から陰交穴）→最も虚
心の診所（中腕穴から鳩尾穴）→次いで虚
腎の診所（陰交穴から恥骨上際）→実
肝の診所（帯脉穴から巨髎穴）→実
肺の診所（腹哀穴から臍の右）→平

脾心→虚 肝肺→実 肺→平

浮・平・虚

細くてとても弱い脉

経絡治療

五臓のバランスの調整
（生命力と自然治癒力の強化）

生理機能が回復

今回の症例に対して

日本ではまだ、避妊にピルを常用する
ケースは少ない

低容量ピルの長期使用から使用中止
を経て月経が戻らない、レアな症例だった

妊娠に必要な身体づくり

→ 本治法+標治法

要因や病名でなく、症状にアプローチする
経絡治療（本治法）の有用性

→ レアな症状や国籍を超えて治療が可能に